



第54回 創立記念式



夏を思わせるような晴天となった5月1日(金)、第54回創立記念式典が行われました。前述のような天気であったことから、ご出席される利用者様やご来賓方の体調を考慮して厚生棟研修室での開催となりました。

はじめに山川理事長より、設立当初のお話とご協力いただいた方々への感謝の気持ち、そしてこれからも皆様の期待に応えられる島田療育センターを目指すというお話をいただきました。そして木実谷院長より、島田が重症心身障害児者を元気に牽引できるような施設となるべく奮起し、利用者様のために10年20年先を目指し努力していく意気込みと、お越しいただいた裁縫ボランティアの方々への感謝のお気持ちをお話いただきました。

次に、落合療育部長より、平成26年度に亡

くなられた4名の利用者様の過去帳を読み上げ納められました。厳かな雰囲気の中で理事長、院長始め利用者様と職員、ご遺族と成年後見人の方々、最後に父母会会長と副会長の方々による献花が行われ、亡き利用者様へ哀悼の意を捧げました。

続いて、裁縫ボランティアとして約50年島田療育センターへ貢献していただいた4名の方へ、感謝の気持ちを込めて理事長より感謝状を贈呈されました。

最後に永年勤続表彰が行われました。20年勤続職員9名、10年勤続職員13名の氏名が読み上げられ、山川理事長より各年それぞれ表彰者を代表した職員へ表彰状と記念品が授与され、



これまでの功勞に対し拍手が送られました。

多くの方々のご協力があつて今の島田があることを改めて感じることでできる式典となりました。
(事務員 岸水 美知恵)

永年勤続表彰者

勤続20年、10年の職員を代表して、2名からコメントをもらいました

20年

勤続20年を迎えて——

福祉の「ふ」の字もわからない私が、島田療育センターで働かせて頂いて20年を迎えました。入職したての頃は不安な気持ちを抱きながら仕事をしていましたが、利用者様の暖かい笑顔やご家族様の暖かいお言葉、先輩方の厳しくも心のこもったご指導があったからこそ今日まで勤め続けてこれたのだとしみじみ感じます。

この先も驕ることなく感謝の気持ちを忘れずに学びを深め、利用者様・ご家族様に寄り添った療育を提供し、利用者様の笑顔を見続けることが出来るよう毎日を大切にしたいと思います。

(児童指導員 長嶺 秀樹)

10年

勤続10年を迎えて——

理学療法士として就職してから1病棟や3病棟、外来など多くの利用者様やリハビリ、病棟スタッフから沢山のことを学ばせて頂き、10年が経ちました。

経験年数を重ねるにつれて島田療育センターの歴史の大切さを知り、そして小林堤樹先生の志に感銘を受けるようになりました。また研修会に参加した際に島田という名称をきっかけに声を掛けて下さり、人と人を繋げてくれることもありました。

10年の経験を糧に、今後も利用者様の生活がより豊かになるよう、理学療法士として固定概念にとらわれず前向きに取り組んでいきたいと思っています。

(はちおうじ理学療法士 黒川 洋明)

全国施設協議会開催

事務部次長 森久保 真由美

平成27年5月15日、16日と越後湯沢のNASPAニューオータニ湯沢にて長岡療育園の主催で開催されました。島田療育センターからは公益社団法人日本重症心身障害福祉協会の理事である木実谷院長、参与の山川理事長をはじめ、5名で参加致しました。

15日の協議会に先駆け14日は平成27年度定期総会が行われその中で、10年の永年勤続者と第4回重症心身障害看護師合格者の表彰式が行われました。永年勤続者は全国で454名、重症心身障害看護師合格者は80名、島田療育センターからは10名のうち3名が表彰式に参加し、代表して田中多佳子療育長が登壇、表彰状を受け取りました。島田療育センターの重症心身障害看護師合格者は今回3名でした。岡田理事長からは、これからも支援を必要とする方々に寄り添う事を期待したいとお言葉を頂きました。

かなり内容の濃い協議会で最終日も時間ぎりぎりまでの討議報告がありました。参加施設123施設、参加人数360名の会議が無事に終了致しました。

協議会プログラムと概要は以下の通りです。

1. 開会式

今回任期満了で勇退される岡田喜篤理事長より、今回のテーマである障害児と在宅についてお話しがあり、そして島田療育センターの木実谷院長が新理事長に就任したことのご紹介を頂きました。また、新潟市副知事の池田千絵子様、長岡療育園園長小西徹様よりご挨拶頂きました。

2. 行政説明

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課障害児・発達障害者支援室 障害福祉専門官の田中真衣様より4つのテーマのご説明がありました。

- 障害児施策について
- 重症心身障害児・者の支援について
- 最近の動向について
- 報酬改定について

3. 特別講演

埼玉医科大学総合医療センター
小児科教授 田村正徳様

POST-NICU重症児の在宅医療連携について、以下の様な説明がありました。「医療の発達により新生児の死亡率が低くなってきている一方で、超低出生体重児による障害児の率が増えてきている。その為NICU長期利用が増え新生児搬送受け入れが出来なかった、または母体の搬送受け入れが出来なかったと言う問題が出てきている。医師や看護師の確保が難しい事と増床は困難である。」また、小児在宅医療についてのアンケートや現状のご説明もありました。

4. シンポジウム

テーマ「施設から在宅の流れの中で重症心身障害児者施設の現状と今後の展望」について各ブロックの発表がありました。

- 北海道療育園
- 千葉リハビリテーションセンター愛育園
- 東京小児療育病院 みどり愛育園
- 長岡療育園
- 大阪発達総合療育センターフェニックス
- 旭川児童院
- くまもと芦北療育医療センター
- 聖隷おおぞら療育センター

5. 報告事項協議

各委員会から現状報告がありました。

- 医療問題検討委員会
- 福祉問題検討委員会
 - 入所支援部会
 - 在宅支援部会
- 学術委員会
- 人材育成・研修委員会
 - 職員研修部会
 - 看護師研修部会
- 広報委員会
- ガイドライン特別委員会
- 東・西重症心身障害児施設協議会
- 全国重症心身障害日中活動支援協議会

デイケアセンター

マリンバ・ミニコンサート

4月27日（月）の午後、デイケア2階ホールを会場として、マリンバのコンサートを開催しました。

プロ奏者の大久保薫様をお迎えして、幼児部・青年部の皆様と職員は素敵な音楽鑑賞のひとときを過ごしました。

マリンバ演奏を鑑賞することは、全員初めての体験でした。大久保様の両手から紡ぎ出されるマリンバの優しい音色に、皆さん聴き入っていました。デイズニードレーやレット・イット・ゴーの曲から、桜の幻影というマリンバのオリジナル曲まで幅広く演奏して頂きました。代表者より大久保薫様に、感謝の花束を贈りました。ありがとうございました。

（療育長 高橋 節夫）



公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会 主催

連載

第26回 重症心身障害療育学会学術集会

実行委員長 島田療育センター 院長 木実谷 哲史

第26回重症心身障害療育学会学術集会が、今年の10月1日と2日の両日多摩市のパルテノン多摩で開催されます。今回は島田療育センターが大会事務局となり、前日の9月30日には約60名の方が島田療育センターの見学に来られます。

この学会は以前は重症児施設療育研究大会という名称でした。2003年10月には島田療育センター院長が実行委員長となり、都内の重症心身障害児施設の施設長が実行委員となって共同で開催しましたが、今回は島田療育センター単独での運営となります。

その後、この研究大会は学会組織に改編され日本重症心身障害福祉協会に加盟する施設の様々な職種の人たちが、日ごろの業務・医療療育活動に直結する内容を実践した成果を発表す

る場として貴重な存在となっています。専門の学会誌も定期的に発行され、日本重症心身障害学会と並んで私たちの世界をアピールできる存在となりました。重症心身障害の世界は多職種共同作業で成り立っており、日頃の様々な問題を同じ場で討議できることは大変貴重です。

全国からこのような目的をもって集まってこられる仲間たちを大いに歓迎して、実りの多い2日間にしたいと強く願っています。島田療育センターの全職員が一丸となって取り組みましょう。

みんなが笑顔
いのちにぎわうまち多摩

ちよつとひと息

アロマセラピーの世界に「若返りの水」なるものがあるのをご存知でしょうか。「ハンガリアン・ウォーター」のことです。これは、ローズマリーを主としたもので、70歳のハンガリー王妃が隣国の20歳半ばの王子様にプロポーズされるくらいアンチエイジング効果が期待できるものと言われています。

しかも、アンチエイジング効果だけではなく、なんと、ローズマリーには私のテニスのコーチも愛用するほど、肉体疲労、筋肉痛なんかにも効果があります。仕事柄、腰痛にも悩まされるようになり、予防も兼ねて私も使い始めました。もともとは、ハーブをお酒に漬け込んだ「チンキ」のことを言いますが、複数の精油とアルコールと精製水で再現することができますので興味のある方は是非。

(看護師 戸島 洋)

島田の動きあれこれ

- ◆第54回創立記念式 記事掲載
5月1日(金)に行われました
- ◆国士舘大学 介護等体験実習受入
5月11日(月)から開始いたしました
- ◆平成27年度 全国施設協議会 記事掲載
5月14日(木)～16(土)に参加しました
- ◆摂食機能療法セミナー
5月21日(木)に行われました
- ◆日野自動車ビッグバンド部コンサート
5月31日(日)に行われました

入退所 状況

平成 27年 4月	入所	退所
長期	1名	0名
短期	17名	17名
緊急一時	24名	24名
医療緊急	5名	4名

5月のほっと

ほっとB室 テーマは「五月(さつき)」



赤、黄、ピンクのお花畑です。



緑の草むらから顔を出すのは…誰?



小鳥も元気にご挨拶です。

6月 行事予定

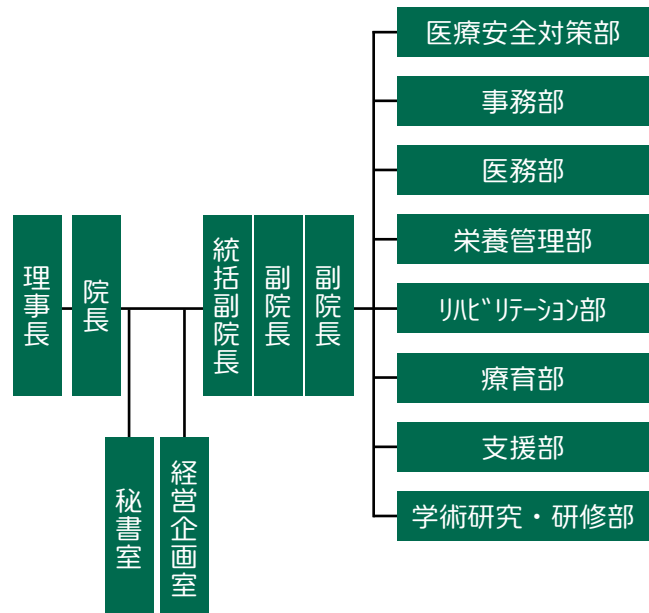


(○数字は病棟名)

- 2日(火) 大遠足 3病棟(西棟)
- 3日(水) 茶話会 2病棟
- 4日(木) 運動会 1病棟
- 8日(月) 小G外出 多摩センター(ほっと)
- 9日(火) 全体活動 5病棟
小遠足 NHKスタジアム③
- 10日(水) ドライブ 薬師池公園①
- 11日(木) CAPP
小遠足 タヤけ小やけ⑤
- 12日(金) 小遠足 神代植物公園⑥
- 18日(木) 小遠足 こどもの国①
- 19日(金) ドライブ パルテノン多摩⑥
- 22日(月) ドライブ 南大沢⑦
- 25日(木) 小遠足 NHKスタジアム②
- 26日(金) ドライブ 府中市郷土の森⑤
- 28日(日) ハルカ・ブラザースコンサート
- 30日(火) ドライブ サリカ・ユートピア③

お知らせ

◆平成27年度 組織



発行者

社会福祉法人 日本心身障害児協会

島田療育センター

住所 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>